

## 目次：

国内留学！長野 イングリッシュキャンプ	P 1
第10回留学生 日本語弁論大会	P 2
第6回英語スピーチ コンテスト	P 2
オーストラリア・テイ キン大学研修報告	P 3
フィンランド・スウェ ーデン北欧福祉研修	P 3
留学生浅草・ スカイツリー小旅行	P 4
留学生在籍状況 行事予定	P 4



入国審査 &amp; ホテルチェックイン



滝へのブラインドウォーク

## 国内留学！長野イングリッシュキャンプ

2012年8月28日～30日、長野県乗鞍高原において全学科学学生を対象とした長野イングリッシュ・キャンプが実施されました。研修先のNORTHSTAR OUTDOOR ADVENTURESは、国立公園の中の乗鞍岳の麓にあり、近くには山、滝、池、森が、敷地内には清流が流れる自然豊かなロッジです。アウトドア・アクティビティーをとおして英語で楽しくコミュニケーションをとれるようになることを目的とし、3学科から12名の学生が参加しました。初めはアメリカ人スタッフからの英語の指示に戸惑っていた参加者でしたが、ハイキングやリバーハイク等のチーム・ビルディング・アクティビティーを通して、自然に英語を聴き取り、コミュニケーションができるようになりました。

## ◆ Immigration &amp; Hotel Check-in English

到着後、ロッジの入口では英語での入国審査とホテルチェックインが行われ、全員無事に審査を突破しました。

## ◆ Hike to Waterfall (Blind Walk)

目隠しをして1列に肩を組み、森の中をハイキングをするブラインド・ウォーク。目隠しをしていないリーダーが、英語で前後左右、障害物の有無、歩くスピードを指示し、声を掛け合いながら協力して歩きます。終着点で目隠しをはずすと、大きな滝が目前に現れ、歓声が上がりました。

## ◆ River Hike

リバーハイクは、川の中を下流から上流に向かって歩くハイキング。水が冷たく、ごつごつとした石の中を歩くため、ウェットスーツとライフジャケットを身に付けて歩きます。途中、滝壺の滝に打たれたり、岩から深みに飛び込んだりと今まで経験したことがなかった、と学生たちは大興奮でした。

## ◆ Making TV Commercial

野外で体を使った後は、英語圏のテレビコマーシャルを鑑賞し、グループに分かれて実際にコマーシャル作りコンテストをしまし

た。テーマを自由に設定、英語でスクリプトを作成し、iPadで出演者の撮影をしました。ロッジにある物を使い、撮影スタジオに見立て、アイデアとユーモア溢れるコマーシャルが完成し、鑑賞会は大いに盛り上がりました。



グループに分かれてコマーシャル作り

## ◆ Campfire &amp; S'mores

夜のキャンプファイヤーでは、アメリカのキャンプファイヤーには欠かせないS'more（スモア）を体験。棒に刺したマシュマロをキャンプファイヤーできつね色に焼き、チョコレートとビスケットで挟んで口に入れるとチョコレートとマシュマロがとろけて「もう少し欲しくなる（some more）」ことから、「S'more」と呼ばれています。



## ◆ Sharing Time

この3日間のキャンプで得た感想を英語で分かち合い、発表する時をもちました。完璧な英語でなくても口に出してみることの大切さを学んだ、学年・学科をこえて友人を作ることができた等の感想がありました。



ノーススターのスタッフと参加者

## 第10回聖学院大学留学生日本語弁論大会が開催される

12月5日（水）聖学院大学チャペルにて第10回聖学院大学留学生日本語弁論大会が開催されました。最終選考で選ばれた7名の留学生が「私の異文化体験」「未来の私」「世界の中の日本ー私のイメージ」「私の主張」のテーマから熱弁を奮いました。

最優秀賞の「学長賞」を受賞したのは、コミュニティ政策学科2年のハイ・キエンさん（中国）の「成功への近道」でした。ラオスに半年間住み、異文化の中でのチャレンジを成し遂げた経験から、先の失敗を恐れずに一步踏み出そうと聴衆に力強くメッセージを刻みました。第2位「日本語教育委員長賞」を受賞したのは、人間福祉学科2年のシー・イティンさん（台湾）の「幸せな場所」。福祉施設



学長賞を受賞したハイ キエンさん

での子どもと施設職員のやりとりから、常識よりもその人の気持ちを尊重する大切さを学び、皆が笑顔でいられるような幸せな場所を作るという夢を、歌と笑顔を交えて語りました。第3位「国際部長賞」を獲得したのは、コミュニティ政策学科1年生のサイ・ミカさん（中国）。

「未来の私」と題し、日本での留学後にニューヨークでファッションを学び、自分の子が一番似合う服を作りたいとの未来像を語りました。留学生の生きた体験にもとづいた主張や熱意は、聴衆に感動を与えました。

### 〔学長賞〕

コミュニティ政策学科2年 ハイ キエン  
PEI GUIYAN（中国）「成功への近道」

### 〔日本語教育委員長賞〕

人間福祉学科2年 シー イティン  
SHIH YITING（台湾）「幸せな場所」

### 〔国際部長賞〕

コミュニティ政策学科1年 サイ ミカ  
CUI MEIXIANG（中国）「未来の私」

### 〔健闘賞〕（発表順）

コミュニティ政策学科1年 チョウ レイエン  
ZHAO LIYUAN（中国）「日本での生活」

コミュニティ政策学科3年 ヨウ シンシン  
YANG XINXIN（中国）「私の就職観」

日本文化学科2年 イ テウック  
LEE TAEWOOK（韓国）「未来の私」

政治経済学科1年 イ ゴンヒ  
LEE KUNHEE（韓国）「頑張れニッポン！」



日本語教育委員長賞を受賞したシー イティンさん



最終弁論者 7名

## 第6回聖学院大学英語スピーチコンテストが開催される

12月12日（水）聖学院大学チャペルにおいて、第6回聖学院大学英語スピーチコンテストが開催されました。今年度も留学生日本語弁論大会と同様の5つのテーマに沿って応募した中から選ばれた8名が本選に出場しました。「学長賞」を受賞した欧米文化学科1年のトウ・リさん（中国）は、「My Cross-Cultural Experience」をテーマに、中国から日本に留学する前と後の日本のイメージの違い、日本人が抱く中国のイメージの違いを挙げ、先入観なく、自分の目で見て相手を判断することの大切さを力強く弁論しました。英語教育委員長賞を受賞したのは、欧米文化



学長賞を受賞したトウ リさん

学科1年、石坂由理紗さんの“The Gift from My Teammates”。アメリカの高校の水泳部で諦めそうになった時のコーチからのことばやチームメートとの友情をとおして得た人生の贈物を紹介しました。

### 〔学長賞〕

欧米文化学科1年 TAO LI  
“My Cross-Cultural Experience”

### 〔英語教育委員長賞〕

欧米文化学科1年 石坂 由理紗  
“The Gift from My Teammates”

### 〔国際部長賞〕

人間福祉学科1年 大久保 史織  
“A Special Chance”

### 〔健闘賞〕（発表順）

コミュニティ政策学科2年 青木 和洋  
“Ingredients for Success”

欧米文化学科1年 勝山 知恵  
“My Homestay Experience in Austria”



英語教育委員長賞を受賞した石坂由理紗さん



弁論者全員と審査員

## オーストラリア ディーキン大学研修報告

### 本格派語学学校

政治経済学科3年(留学時2年)

寒藤 康信 さん

Deakin University English Language Instituteにて  
5週間研修〔2013年2月5日～3月17日〕

留学のきっかけについて、おそらく、他の記事の執筆者の方は格好いいことを言っておられるのでしょう。私の場合、TOEICの勉強に飽きてきて、英語の勉強の味付けでも変えてみようか、という考えで参加したのが本心です。少し格好悪い理由です。どうせ語学研修の間は暇なのだろうからと思い、TOEICやら簿記やら日本の本をたくさん持っていきました。ところが、5週間の研修を終えてみると、持ってきた本にはほとんど手を付けていなかったことに気づきました。そんな暇はほとんどなかったのです。というのも、ディーキン大学附属語学学校(DUELI)はステップアップしていけば

ディーキン大学の学部や大学院に進むことができる学校なのです。かなり本格派です。世界中から高い目標を持った人々が集まっています。彼らは数か月から一年程度英語の特訓をするためにやってきています。そんな中に5週間だけ日本人が参加することの違和感たるや。ステイ先で一緒に暮らしていた学生も、やはりレベルが高く、現地の大学に通っている香港からの学生もいました。そんな中でもがいていたら、気づくと5週間が終わり、帰国していました。帰国の便ではDUELIで学び続けたいと強く考えていました。私はメルボルンで出会った人々に強く刺激を受けました。そのため、当初の味付け云々はどこへやら、私の考えは180度変わってしまいました。TOEICのスコアのための勉強ではなく、これを一つの通過点として、もっと総合的な英語のスキルを身につけていく必要があると考えるようになりました。



クラス全員とバーベキュー

英語の勉強の味付け程度、という考えで参加しましたが、メルボルンで出会った人々に強く刺激を受け、私の考えは180度変わってしまいました。



ステイ先の他国の学生たちと

## フィンランド、スウェーデン、エストニア 人間福祉学科北欧福祉研修報告

### 教育者の意識の高さに感動

人間福祉学科2年(留学時1年)

間中 孝子 さん

8日間研修〔2013年3月3日～3月10日〕

映画に出てくるような近未来都市のヘルシンキ、そして対照的に歴史を感じさせ、魔女の宅急便の魔女が飛び交っているようなタリンとストックホルムへの旅へ出発したのは、ちょうど日本では桃の節句の12時でした。飛行機に10時間弱乗っていたものの、到着はヘルシンキ時間の同日15時。初めての海外旅行の私は、時差ぼけなのか疲れのせいなのか分らぬまま重い体に夕食を詰め込んでいました。異国でほとんど全員が体調を崩さずにいられたのは、北欧の食事が日本人の体に合っていたからに違いないと思います。有名な北欧のサーモン、バターや牛乳、チーズといった乳製品はどれも新鮮で、友人と必要以上にパンを食べてしまった事を思い出します。また、現地のスーパーのチョコレート売り場の広さや、



北欧の歴史感じる  
タリンの街並み

人々が日本より日常的にスイカやメロンを食べていたのも印象的でした。

もちろん、様々な施設見学を通して、北欧と日本の違いも大いに体験しました。一番印象的だったのは、教育者の意識の高さ。どの施設でも一流の教育者・指導者が施設に携わっているという事を誇らしげに説明くださいました。教師一人をとってみても、国の教育方針に従いながらも、どうするのが生徒や利用者にとって一番有効なのかを考えながら自分の方針を決めていくというのが基本でした。これはおそらく日本ではマスコミに取り上げられるレベルで、北欧の教育者・指導者はそんな方々ばかり。また、その教育者のやり方に納得して預けている保護者。これもまだまだ日本では難しい課題だと感じました。

北欧の人々の様々な考え方の違いに感動しつつ、日本の小ささ、取るに足りない常識のあり方を今回の北欧福祉研修で感じました。この経験を活かしつつ、これからの大学3年間で日本や世界の現状や知識を益々深め、将来に大いに役立てたいと思います。

どの施設でも一流の教育者・指導者が施設に携わっているという事を誇らしげに説明くださいました。



デザインの優れたストックホルムの市立図書館

## 留学生と日本人学生の浅草・スカイツリー小旅行

本学の学生国際交流サークル「まのと」による、留学生と日本人学生の交流を目的とした浅草と東京スカイツリー周辺を巡る小旅行が12月8日に実施されました。日本人学生10名、留学生6名の計16名の参加者は、散策しながら会話を弾ませ、木枯らしを吹き飛ばす活気に溢れた小旅行となりました。

### 浅草・スカイツリー小旅行に参加して 欧米文化学科 2013年卒業

#### 前田 こと美 さん

昨年経験したアメリカ短期留学で、たくさんのアジア系留学生の友人ができたことから、日本で勉強に励んでいる留学生が普段どのように過ごし、どう日本を感じているのかに興味を持ったことがきっかけで、この浅草・スカイツリー小旅行参加を決めました。

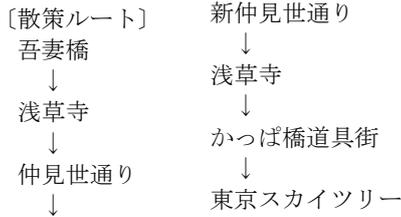
当日は、仲見世通りから始まり、浅草寺、かっぱ橋通り、東京スカイツリーなどの名所を中心に観光をしました。その場にいた留学生の方全員とお話できたわけではありませんが、日本での大学生活やアルバイトのことなど、普段留学生がどのように過ごしているのかを感じることができました。言葉の壁がある中で、厳しいスケジュールでアルバイトをこなしながら勉学に励む彼らに非常に



スカイツリーを背景に全員集合

ハードワーカーな印象を持ちました。

現在の日本の他国との政治・国家的な対立の悪化によって、ふとすると私たちはその国やそこで暮らす人々のことを何らかの形で誤解してしまうかもしれません。今回のような小規模ながらも国際的な交流の中で、実際に他国からの留学生の方々と話すことができ、私は多少なりとも彼らのことを理解でき、友好関係を結べたと思っています。小さなことですが、そういった異文化交流の担う役割や大切さを学ぶことができました。



雷門にて  
(前田さんは  
前列一番左)

## 外国人留学生国別在籍状況

	国籍名	国計
1	中国	199
2	韓国	17
3	台湾	5
4	ネパール	4
5	ベトナム	3
6	マレーシア	2

2013年4月1日現在

	国籍名	国計
7	スリランカ	2
8	ミャンマー	2
9	イラン	1
10	タイ	1
11	ベナン	1
12	セネガル	1
	合計	238



## お知らせ・イベント

- 4月 入学式  
新入生 留学生ガイダンス  
新入留学生歓迎会
- 5月 夏期海外研修説明会  
提携校交換留学説明会  
夏期海外研修締切・面接
- 6月 国際交流会
- 7月 夏期海外研修準備講座・結団式
- 8月 夏期海外研修、長野イングリッシュキャンプ
- 9月 秋入学生 留学生ガイダンス  
春入学1年生 留学生ガイダンス



SEIGAKUIN  
UNIVERSITY

聖学院大学 国際交流課

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号

2号館1階

TEL 048(725)2801 FAX 048(781)0094

Email: kokusai@seigakuin-univ.ac.jp

窓口受付時間

月 9:00~16:00 火~土 9:00~11:30, 12:30~16:00